

令和4年度第5回理事会議事録（抜粋） 検証会

招集通知日 令和5年3月16日（木）
開催日時 令和5年3月27日（月）午後6時00分～
開催場所 伊豆の国市商工会本所2階会議室
出席者数 20名（内 監事1名）
欠席者数 15名
出席役員氏名 別添
司会者 松下泰孝（事務局）
議長氏名 大沢秀光（会長）
議事録作成者 川口英昭（副会長）

議事経過と結果

定刻6時00分、事務局長の司会で開始された。

「開会のことば」を川口副会長が行った後、大沢会長が「会長あいさつ」を行った。議題に先立ち、令和4年度伊豆の国市商工会経営発達支援計画の検証会を開催する旨の説明が事務局長よりなされ、検証会を開催した。

北川中小企業診断士、行政より天野産業部長、平井商工課長、大沼商工振興係長、県連伊藤主幹を迎え検証会と紹介。続いて事務局西家より本会定款32条5項を準用するとして、大沢会長を議長に指名。

令和4年度伊豆の国市商工会経営発達支援計画検証会（最終）（別紙）（資料1-1～4）

①行政、学識経験者紹介

ワンホープ・ビジネスコンサルティング

| | | | |
|----------------|--------|-------|---|
| （中小企業診断士） | 代表 | 北川 裕章 | 様 |
| 伊豆の国市産業部 | 部長 | 天野 正人 | 様 |
| 〃 商工課 | 課長 | 平井 仁史 | 様 |
| 〃 〃 | 商工振興係長 | 大沼 英幸 | 様 |
| 静岡県商工会連合会企画経営課 | 主幹 | 伊藤 彰 | 様 |

②経営発達支援計画の検証（議長は会長）

○計画の概要の説明

(資料1-1)

- ・平成27年7月15日、第1回認定で本会第1期計画が経済産業大臣より認定。
（平成27年4月～平成30年3月 3ヶ年計画）
- ・平成30年3月16日、第5回認定で本会第2期計画が経済産業大臣より認定。
（平成30年4月～令和5年3月 5ヶ年計画）／5年目

○令和4年度伴走型小規模事業者支援推進事業補助金の報告

・事業内容と支出内訳

(資料1-2)

令和5年3月2日実績報告 3,522,260円

・事業承継事業報告会の報告（2月17日）

(資料1-3)

塩野中小企業診断士、大沼市商工振興係長、総務委員会委員出席。
報告書の説明、今後の方針（取組）について

○令和4年度の実績報告（4月～3月現在まで12カ月間）

・実施報告書（定性、定量報告、今後令和5年度について）

（資料1-4）

事務局西家より、①行政、学識経験者紹介の後、②資料1-1から1-4は関連性があるとして一括説明。資料の概略を説明した後、個社支援に伴う別紙事例の説明を行った。

・大沢商工会長報告（総括報告）

第2期経営発達支援計画は5年計画で推進の最終年5年目に当たる。

昨年度の検証会の結果を踏まえPDCAサイクルに基づき、実施してきた。

定性報告、定量報告など、今回は事例紹介も入れ、具体的な個社支援の成果を紹介させて頂きました。事務局の説明の通り。

今年度は、新しく、第3期発達計画を市と共同申請し、令和5年3月17日に経済産業大臣の認定を受けた。

経営発達支援計画を推進するにあたり、依然として、小規模事業者の経営環境は、外部要因となる、ロシアのウクライナ侵攻によるガソリンや原材料の価格高騰や、長期化するコロナウイルス感染症の影響に加え、最低賃金の引き上げ、デジタル化やインボイス制度導入等の「事業環境の変化」への対応に迫られている。

本年度も、環境変化に対応すべく、市と連携した中で、専門家による月毎の個別経営相談会や伊豆の国市プレミアム商品券事業、「伊豆の国市物産館」運営、伊豆の国ブランド事業所等を中心に、新しい顧客層に対しての販路開拓による売上アップを図る伴走支援など、個社支援と地域経済の活性化・地域の課題解決を面的に支援を行ってきた。

併せて、従来の創業支援、経営革新などの新事業展開支援、事業承継支援の3つの支援を最重要課題として、市と連携して取り組んでいる。

商工会では、様々な国・県・市の施策等を通して小規模事業者を支援している。経営指導員等職員の巡回を中心に、幅広く、より多くの小規模事業者に対して、従来の「伴走支援型」から、対話と傾聴を重視した本質的な課題の掘り下げ、内発的動機付けで、経営者の自走化を目指す「経営力再構築伴走支援型」の支援へと、より充実させていくと述べた。

○評価と検証と今後

・中小企業診断士 北川 裕章 様

- ・各事業の目標に対する達成率は、コロナ禍等の特殊な事情があったものを除いて概ね100%を超えている。また伴走型補助金事業も積極的に活用した取り組みが見られ、計画通りに実施されている。新型コロナや自然災害対策で様々な施策が打ち出されており、商工会業務が多忙な中で当初計画が着実に実行されている点は高く評価できる。
- ・当商工会は継続的に事業承継問題に取り組んでおり、本年度も計画に沿って実施された。これまでに事業承継に係るアンケート調査による実態やニーズの把握、課題の抽出等が行われてきた。それを踏まえたうえで本年度もセミナー開催や個別相談による個社支援が実施され、事業者の意識啓蒙や支援の具体策等が成果として表れている。
- ・推進が期待されるDXに向けた支援では、専門家による個別相談会を毎月開催した。延べ41件の相談実績をあげており、計画が着実に実施されていると認められる。
- ・本年度当商工会は伊豆の国市と連携して「事業継続力強化支援計画」の認定を受けた。BCPについては、新型コロナや自然災害の大型化、福祉施設事業者の2024年度からの義務化等の環境変化がある。会員事業者に対して、本年度も実施されているが「事業継続力強化計画」の更なる策定支援が求められる。継続的な支援が事業者のBCPに対するハードルを下げ、さらにはリスクマネジメントへの啓発につながると期待できる。
- ・創業支援や事業計画策定支援、販路開拓支援の具体的な事例が写真付きで紹介されている。事例を多くの事業者に紹介することで、支援プロセスや効果等が明確となる。このような事例報告が事業者の新たなチャレンジの後押しになると評価できると述べた。

・伊豆の国市産業部 天野 正人 部長 様

- ・各種セミナーや販路開拓支援の取り組みを評価する。
- ・伊豆の国物産館売上の内伊豆の国ブランド商品が28.4%を占めていた事を評価する。今後は伊豆の国ブランド振興会で引継ぎ販路開拓を進めていくと聞いている。市としても支援をしていきたい。
- ・コロナにおける経済対策支援として2回のプレミアム付商品券事業への協力について感謝する。来年度もプレミアム付商品券事業を予定している。引き続き協力をお願いしたい。
- ・10月1日に狩野川神島公園が完成する。商工フェアの開催場所としてなど活用を検討してほしいと述べた。

・静岡県商工会連合会 伊藤 彰 主幹 様

- ・様々な事業を市や金融機関等と連携して実施しており、各項目評価も概ね4以上である事を評価する。
- ・コロナ終息に伴い世界遺産等の観光資源を活かして宿泊客が増加するような取り組みを拡充して実施頂きたい。

③その他

- ・今後の予定

令和5年度

新発達計画の推進と伴走型補助金の申請

市と連携して事業継続力強化支援計画の推進

事務局西家が4月より第3期発達支援計画に基づき事業を進めていく。伴走型補助金の申請をして活用しながら小規模事業者の支援を進めていきたい。また事業継続力強化支援計画については市の協力を頂きながら事業の実施を進めていきたい旨述べた。

その後事務局西家が検証会について質疑を求めたところ特になく検証会を終了した。